金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37310004
授業科目名(Course name)	声楽（５）		
担当者(Instructors)	坂井 いづみ		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	263
開講クラス(Class)	音３声	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 木曜２限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費（円）(Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限（名）(Maximum number of students)	

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

さまざまな作曲家や音楽様式の作品を演奏するためには、正しい発声の会得や発音、そして詩の解釈は必要不可欠である。この授業では個人レッスンでベルカント唱法を理解していき、歌唱時の姿勢や呼吸、息の運び方など、基礎的なことを基に、自分の体と心に向きあいながら、無理のない自然な声と、更に、それを伴う且つ楽曲に適した音楽表現を確立していく。

■到達目標(Course goals)

正しい唱法に基づいた、音楽・自己表現を身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎

２．汎用的技能

日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。 ○

音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)

1. 『ドン・ジョヴァンニ』研究１　モーツァルトオペラ作品について
2. 『ドン・ジョヴァンニ』研究２　『ドン・ジョヴァンニ』について学ぶ
3. 『ドン・ジョヴァンニ』より　”ぶってよマゼット”　ツェルリーナの音楽表現について１
4. 『ドン・ジョヴァンニ』より　ツェルリーナの音楽表現とキャラクターについて
5. 『フィガロの結婚』研究１　　モーツァルトのレチタティーヴォ付アリアの研究と表現１
6. 『フィガロの結婚』研究２　『フィガロの結婚』について学ぶ
7. 『フィガロの結婚』より　”とうとう嬉しい時が来た”　スザンナの音楽表現について１
8. 『フィガロの結婚』より　”とうとう嬉しい時が来た”　スザンナの音楽表現とキャラクター
9. 『コジ・ファン・トゥッテ』研究１　『コジ・ファン・トゥッテ』について学ぶ

10. 『コジ・ファン・トゥッテ』研究２　モーツァルトの装飾音符について
11. 『コジ・ファン・トゥッテ』より　”女も１５になれば”デスピーナの音楽表現１
12. 『コジ・ファン・トゥッテ』より　デスピーナの音楽表現とキャラクター
13. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～お互いの呼吸を感じて～
14. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～試験を心がけて～
15. 授業内実技試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

毎回の授業で課題をみつけ、日々練習と研究を行う

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

レッスンで学んだことや課題を持ち帰り、真摯に自分の技術や音楽表現のスキルアップをはかろう！

フィードバックは授業時に随時対応する。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

コンコーネ、パノフカ、ヴァッカイなどの声楽教則本
モーツアルトのオペラ作品、また他の作曲家の歌曲集等
＊学生の技量と進度に応じて

■評価方法(Evaluation method)

実技試験　70%

授業への取り組み　30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業時間前後やKmail等で随時受け付け